

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	プリンスメロン70a (大型トンネル40a、ハウス30a)、ミニトマト30a、秋冬キャベツ40a、水稻200a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次													

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	20	504,000	504,000	15	33,600	8	235,200	100	9,408
トラクタ	20ps	1 台	1,567,000	12	184,353	184,353	7	26,336	4	79,008	20	632
ロータリ	140cm	1 台	306,000	12	36,000	36,000	7	5,143	4	15,429	20	123
管理機	3.5ps	1 台	209,270	35	73,245	73,245	7	10,464	4	31,390	100	1,256
動力噴霧機	6.8ps	1 台	182,700	25	45,675	45,675	7	6,525	4	19,575	100	783
運搬車	6ps	1 台	424,200	30	127,260	127,260	7	18,180	4	54,540	100	2,182
軽トラック	660cc	1 台	850,000	20	170,000	170,000	4	42,500	2	85,000	100	3,400
建物・構築物計			2,520,000		504,000	504,000		33,600		235,200		9,408
機械・器具計			3,539,170		636,533	636,533		109,148		284,942		8,376
合計			6,059,170		1,140,533	1,140,533		142,748		520,142		17,784

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	プリンス	大型トンネル	2,250kg	水田転換畑	40a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
定 植 準 備	12/中	堆 肥 もみ殻	500kg 1,000kg	軽トラク トラクタ	①有機物施用 全面に散布し、耕耘する。	0.5 2.0	2 1	14.0	ガソリン 1.1 軽油 4.0
	2/下	過石 ランカク バイオノ有機S ソイルテック ネトリエース	30kg 80kg 90kg 40kg 20kg	人力、運搬車 トラクタ ロータリ 管理機 灌水装置	②施肥、作畦 土壌改良材を施用し、耕耘し、畦を 作る。	1.0 2.0	2 1	19.0	ガソリン 4.0 軽油 4.0
	3/上	ケムート乳剤 トンネル支柱 外 " 内 古ビニール " 外 " 内	300cc 530本 150本 400m 400m 400m		③マルチ、トンネル 除草剤を散布し、マルチする。 2重トンネル被覆を行い地温を上げ る。 霜の恐れのある場合、古ビニール等 を利用し被覆する。	0.5 0.5	1 2	38.0	軽油 0.5 ガソリン 0.5
定 植	3/中～下	ポット苗 ダイヤキャップ	560本 560枚	人力	①浅植えし、ダイヤキャップをかぶせ ておく。		3	24.0	
温 度 管 理	3/下～6/上			人力	①活着したらダイヤキャップを取り除 き内トンネルから順次開閉して適温 に管理する。 ②肥大終了後、ビニールの裾は開放する。		1	55.0	
整 枝	3/中～6/中			人力	①親づるは本葉4～5枚で摘心する。 ②子づるは揃った3本を伸ばして誘引 先端はパイプ際で止める。 ③着果孫づるは着果節より先1葉残し て摘心し、着果節のひ孫づるは着果 後早めに除く。		2	65.0	
追肥、中耕、 灌水、敷きわら	3/下～6/中	住友液肥2号 稲わら ソイルテック	3.3ℓ ² 125把 40kg	動力噴霧機 灌水装置	①活着の悪い時、樹勢の弱い時は液肥 を灌注する。 ②つるが内トンネルから出るようにな ったら、敷きわらをする。 ③開花5日前ころに灌水をする。 ④1番花収穫後、追肥をし、かん水す る。	1.0	2	9.0	ガソリン 1.0
ホルモン処理 灌水	4/下～5/上	ジベレリン液剤 トマトーン	20cc 20ml	人力 灌水装置	①子房部散布または塗布する。株当た り9果を目標とする。 ②着果後灌水する。	1.0	2	25.0	ガソリン 1.0
玉直し・摘果	5/上～5/中	マルチ	5,000枚	人力	①開花後、15日頃シートを敷き、玉 直しをする。不良果は摘果する。		2	14.0	
収穫・出荷	6/上～7/上			人力 軽トラク	①開花後35日前後に果皮色、果梗の 離層、葉の枯れ具合から収穫適期を 判断する。 ②朝収穫し、汚れた果実は布で拭いて 出荷する。	10.0	1	80.0	ガソリン 22.0
病虫害防除	3/中～6/中	アクタラ粒剤5 ロブラール水和剤 アクタラ顆粒水和剤	1120g 600g 300g	人力 動力噴霧機 軽トラク	①定植時、株当たり2gのアクタラ粒 剤を処理する。 ②交配前、交配後の防除を行う。 ③菌核病、うどんこ病、アブラムシに 注意する。	13.5	2	27.0	ガソリン 13.5
後片づけ	7/下			人力	①トンネルをかたづける。マルチは回 収する。		2	20.0	
合 計									
									390.0

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	679,500	生産量① : 2,250 kg 単価② : 302 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	679,500		
生産	種 苗 費	76,720		
	肥 料 費	31,053	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	24,468	"	
	諸 材 料 費	98,894	"	
	動力光熱費	9,482		
	農 具 費	6,365	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,260	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	18,500		
	減価償却費⑤	35,687	別表のとおり	
	土地改良費	4,285		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	306,714		
	費	販売費一般	出荷資材費	38,250
管理費		販 売 諸 費	156,240	
		諸税負担金	2,731	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,780	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	378	借入資本利率2%
		小計 (C)	200,379	
経 営 費 (D)	507,093	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	483,860	農 従 労 働 時 間 : 366.9 生産管理労働時間 5.3 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	990,953	主産物単位当たり 440 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	19,098	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	4,446	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	3,700			
全算入生産費 (H)	1,018,197	生産物単位当たり 453 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	172,407	時間当たり 463 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	25	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-338,697	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	145,163	時間当たり 390 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-311,453	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
定植準備						19.0	38.0																											14.0		71.0	
定植							16.0	8.0																													24.0
温度管理								6.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	7.0	5.0																						55.0
整枝							1.0	10.0	10.0	20.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																				65.0	
追肥・中耕・灌水・敷ワ								1.0	6.0	2.0																										9.0	
雑草処理・灌水											24.0	1.0																								25.0	
玉直し・摘果												7.0	7.0																							14.0	
収穫・出荷															20.0	30.0	24.0	6.0																		80.0	
病害虫防除							2.0	1.0			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																				27.0	
後片づけ																				20.0																20.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	38.0	19.0	26.0	24.0	30.0	39.0	23.0	22.0	15.0	33.0	38.0	24.0	6.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	390.0	